

■東京都立 葛西臨海公園 鳥類園

- 住所：千葉県習志野市秋津5-1-1 ■HP：<http://www.seibu-la.co.jp/yatsuhigata/>
■ブログ：<http://choruuien2.exblog.jp/>
■Facebook：<https://www.facebook.com/kasaibirdsanctuary/>
■Twitter：<https://twitter.com/gnmj19k9px1fhpe>
■施設概要：面積約27ha、淡水池や汽水池、樹林地、草地などの多様な環境があるバードサンクチュアリです。都内で唯一ラムサール条約に指定された東京湾の干潟に隣接する施設で年間に110種以上の鳥類が飛来するほか、様々な動植物が生息しています。園内に設置されたウォッチングセンターと呼ばれる建物には、土曜・日曜・祝日にNPO法人生態教育センターのスタッフが常駐し、来園者の方へガイドなどを行っています。
■発注元：(財)東京都公園協会
■受託年：平成16年4月～
■職員人数：2名

+

●主な業務内容

- ・開館・閉館作業および来園者対応（土・日・祝日のみ）
- ・ホワイトボードを用いた自然情報の提供（土・日・祝日）
- ・東京都公園協会ホームページへの自然情報の提供（2回/月）
- ・鳥類園ブログの管理や更新（1回/週程度の更新）
- ・自然観察会などのイベントの企画・運営（1～数回/月）
- ・動植物の調査（写真による記録含む）（土・日・祝日）
- ・環境管理作業（主にヨシ原の管理）



葛西臨海公園 鳥類園（上空写真）

●業務実績：令和2年度

- 令和2年度は、新型コロナウイルス対策の影響で臨時休園の期間があり、主催イベントでは中止や定員の半分に制限するなど通常の運営は十分実施できなかった。そのため、生きものの紹介動画の配信やセルフガイドシートの作製など、間接的インタープリテーションを積極的に実施した。
- 2020年度に鳥類園ウォッチングセンター来館した人数は1,737名であった（月あたり1,737名※4,5月は閉館）。団体対応は7件123名であった。
- 定例イベントはガイドツアーを3回実施し、参加人数は123名。自然観察ツアーを2回実施し、参加人数は72名。ひがた・たんぼ倶楽部を14回実施し、参加人数は116名であった。
- スタッフによる自主ブログ「葛西臨海公園・鳥類園Ⅱ」の運営を行った。2020年のブログ更新数及び訪問者数は更新数60件、訪問者数133,437名であった。



葛西臨海公園 鳥類園



鳥類園 上の池



鳥類園 下の池



鳥類園 淡水湿地

●主な事業

1. イベント運営

ガイドツアーとは主に初心者の方を対象とし、鳥類園内をスタッフと一緒に歩きながら鳥類を中心とする生きものを観察する観察会である。

自然観察ツアーとは、鳥類園内をスタッフと一緒に歩きながら、鳥類や植物などの生きものを5感で感じる観察会である。

ひがた・たんぼ倶楽部とは、ボランティアによる環境管理イベントである。絶滅危惧種の営巣環境整備や、干潟のヨシ原の若返りをはかるために行っている。



自然観察ツアーの様子



来館者対応の様子



ひがた・たんぼクラブの様子

2. 調査業務

鳥類園における生物の生息状況を把握するとともに、その結果を来園者へのガイドや展示物作成、環境管理時の基礎資料とするために行っている。なお、鳥類のシギ・チドリ類については、将来のシギ・チドリネットワークへの登録時の資料として活用できるよう、簡易なまとめを行っている。



鳥類調査の様子



トビハゼ調査の様子



水生生物調査の様子

3. 植生管理作業

主な作業はヨシ等の抽水植物の繁茂を抑制するための刈り取りと搬出である。作業は、鳥類の生息環境保全を図ると同時に、来園者の観察利用環境を整備するため、観察小屋及び観察窓付近の水域を中心に行っている。合わせて、観察小屋及び観察窓の前面の草地・樹林において、窓からの視界を良好に保つために草の刈り取りや枝払いも行っている。



団体の受け入れ



ヨシ刈りの様子



刈ったヨシの運搬